

日本ナボコフ協会
2005年秋の研究会のお知らせ

日時：2005年12月10日（土） 14時00分～17時30分
会場：京都大学文学部新館第1講義室

プログラム（敬称略）

<第1部>

・トーク 14時00分～15時20分

「『ロリータ』とその新訳をめぐって」

若島正（京都大学）

（11月末に新潮社から刊行される『ロリータ』の新訳についてのお話。会場からの発言やご質問も積極的に出ることを期待しています。）

<第2部> 司会 沼野充義（東京大学）

・新刊紹介 15時40分～16時00分

板倉巖一郎（中京大学）

（とりあげるのは、Connolly先生のご紹介もかねて、この夏に出たばかりの *The Cambridge Companion to Nabokov* です。）

・講演 16時00分～17時30分

"Challenges in Decoding Nabokov: *The Real Life of Sebastian Knight*"

Julian W. Connolly（University of Virginia）

* 会員以外の方もお気軽にご参加ください。入場無料です。
お問い合わせは協会事務局まで。